



外国人を英語でもてなす「JOV」活動の昨年の様子。
右は山本柚花さん(現船岡中1年)

希望者は外国の方々を英語でもてなす「JOV」(ジュニアおもてなしボランティア)に挑戦。初めは緊張しますが、外国の方の笑顔を見たり、最後まで英語で桜を説明できたりしたときは、達成感を得られました。

グローバル(世界的)とローカル(地元)のこ

とを学ぶ「グローバルクラブ」があるのも学校の特徴。町には「伝えた

い桜」があります。新型コロナウイルスの影響で活動できていませんが、地元をよく知り国際的な視点で発信すること

を大切にしていきたいです。

編集委員 佐藤天空、藤森陽、大槻優陽、山村優真、前田将吾、大槻真子(6年)

指導教諭 飯盛義隆、渡辺正輝、原田都加

とを学ぶ「グローバルクラブ」があるのも学校の特徴。町には「伝えた

い桜」があります。新型コロナウイルスの影響で活動できていませんが、地元をよく知り国際的な視点で発信すること

を大切にしていきたいです。

編集委員 佐藤天空、藤森陽、大槻優陽、山村優真、前田将吾、大槻真子(6年)

指導教諭 飯盛義隆、渡辺正輝、原田都加

とを学ぶ「グローバルクラブ」があるのも学校の特徴。町には「伝えた

い桜」があります。新型コロナウイルスの影響で活動できていませんが、地元をよく知り国際的な視点で発信すること

を大切にしていきたいです。

編集委員 佐藤天空、藤森陽、大槻優陽、山村優真、前田将吾、大槻真子(6年)

指導教諭 飯盛義隆、渡辺正輝、原田都加

とを学ぶ「グローバルクラブ」があるのも学校の特徴。町には「伝えた

い桜」があります。新型コロナウイルスの影響で活動できていませんが、地元をよく知り国際的な視点で発信すること

を大切にしていきたいです。

編集委員 佐藤天空、藤森陽、大槻優陽、山村優真、前田将吾、大槻真子(6年)

指導教諭 飯盛義隆、渡辺正輝、原田都加

とを学ぶ「グローバルクラブ」があるのも学校の特徴。町には「伝えた

い桜」があります。新型コロナウイルスの影響で活動できていませんが、地元をよく知り国際的な視点で発信すること

を大切にしていきたいです。

編集委員 佐藤天空、藤森陽、大槻優陽、山村優真、前田将吾、大槻真子(6年)

指導教諭 飯盛義隆、渡辺正輝、原田都加

とを学ぶ「グローバルクラブ」があるのも学校の特徴。町には「伝えた

い桜」があります。新型コロナウイルスの影響で活動できていませんが、地元をよく知り国際的な視点で発信すること

を大切にしていきたいです。

編集委員 佐藤天空、藤森陽、大槻優陽、山村優真、前田将吾、大槻真子(6年)

指導教諭 飯盛義隆、渡辺正輝、原田都加

とを学ぶ「グローバルクラブ」があるのも学校の特徴。町には「伝えた

い桜」があります。新型コロナウイルスの影響で活動できていませんが、地元をよく知り国際的な視点で発信すること

を大切にしていきたいです。

編集委員 佐藤天空、藤森陽、大槻優陽、山村優真、前田将吾、大槻真子(6年)

指導教諭 飯盛義隆、渡辺正輝、原田都加

とを学ぶ「グローバルクラブ」があるのも学校の特徴。町には「伝えた

い桜」があります。新型コロナウイルスの影響で活動できていませんが、地元をよく知り国際的な視点で発信すること

を大切にしていきたいです。

編集委員 佐藤天空、藤森陽、大槻優陽、山村優真、前田将吾、大槻真子(6年)

指導教諭 飯盛義隆、渡辺正輝、原田都加

とを学ぶ「グローバルクラブ」があるのも学校の特徴。町には「伝えた

い桜」があります。新型コロナウイルスの影響で活動できていませんが、地元をよく知り国際的な視点で発信すること

を大切にしていきたいです。

英語の学習

国際的な視点で桜を説明

船岡小学校は「日本さくら名所100選」の地の宮城県柴田町にあります。町内の小学生は「S

英語でもてなす「JOV」活動の昨年の様子。右は山本柚花さん(現船岡中1年)

外国人を英語でもてなす「JOV」活動の昨年の様子。右は山本柚花さん(現船岡中1年)

船岡小

学校名 柴田町立船岡小学校
所在地 柴田町船岡東1の2の60
電話 0224(55)1064
校長 古積 裕一
児童 547人



助け合える活動

私たちは児童会の「めあて」をもとに、お互いに助け合える活動を考えました。友達に優しくしてもらったことを桜の花の紙に書き、各クラスで1本の桜の木を作りました。それを集めて昇降口に掲示したら桜の並木道ができました。これからも助け合いの花をたくさん咲かせ、笑顔いっぱいの船岡小になるようにしていきたいです。



次回は 富沢小(仙台市) 逢隈小(亶理町)

大谷地小

学校名 石巻市立大谷地小学校
所在地 石巻市小船越角田16の2
電話 0225(62)3129
校長 高橋 徳子
児童 125人



自転車で登下校

大谷地小では毎日、元気に自転車で集団登校をしています。上学年が下学年の面倒を見ながら登下校するので、みんなが安心できます。地域の人とすれ違う時にあいさつをすると、お互いに気持ち良く過ごせます。毎月の登校班長会議でも交通安全について話し合います。これからもみんなが安全に楽しく登下校できるように頑張ります。

家族で参加

お米の大切さかみしめる



家族と一緒に取り組むおにぎり作り

楽しむことができます。2部構成で、第1部では縦割り班ごとに、ボウリングや障害物競走、お化け屋敷などのいろいろな遊びのコーナーがあり、前半と後半でメンバーを交代して遊びます。第2部はおにぎり作りです。5月に田植えを行い、9月に収穫したお米を使います。これも縦割り班ごとに、親子で一緒に作ります。自分たちで育てたお米で作ったおにぎりは、特別おいしく感じます。お米を作っている人々の苦勞が分かり、お米の大切さをかみしめながら食べています。



「大谷地フェスティバル」は、大谷地小の名物行事です。エスティバル」では、計画から活動まで1年生から6年生まで協力して行うため、絆が強まります。6年生にはリーダーとしての力も育ちます。家族みんなで楽しめる「大谷地フェスティバル」は、大谷地小の名物行事です。

編集委員 加納魁人、小出扇、津大珠、桜田理人(6年)阿部風雅、佐々木梓、阿部之香(5年)指導教諭 鈴木信幸、菅井匡美